

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。

しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて「総代会制度」を採用しております。

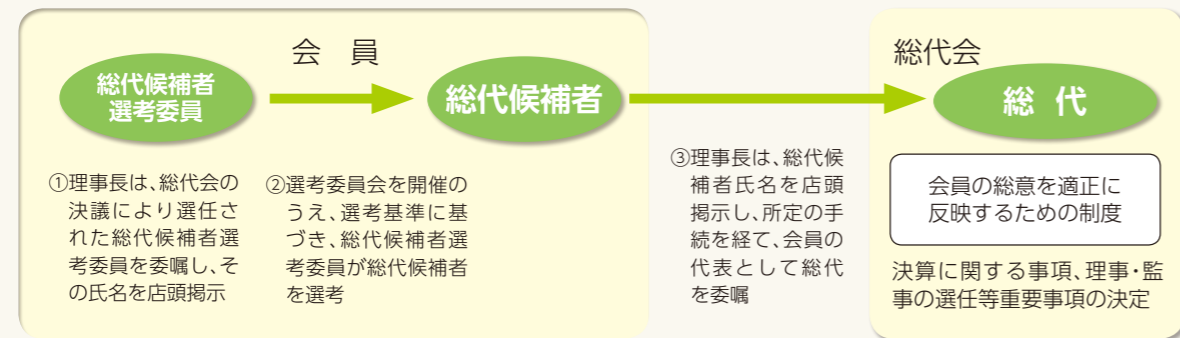
この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、利用者満足度調査や会員懇談会を実施するなど日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代とその選任方法

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



(1) 総代の任期・定数

- 総代の任期は3年です。
- 総代の定数は、定款では90人以上190人以内と規定されていますが、実際は総代選任規程に100名と定められています。また、選任区域ごとの総代数は、当該区域の会員数に応じて配分されています。なお、平成29年3月末現在の総代数は100人で、会員数は25,183人です。

(2) 総代の選任方法

- 総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続を経て選任されます。
- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員会を選任する。
 - ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員会が総代候補者を選考する。
 - ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

選任別会員数と総代数

選任区	会員数			総代数
	法人	個人	合計	
1区	608	5,903	6,511	26
2区	279	3,192	3,471	14
3区	157	2,374	2,531	10
4区	247	2,717	2,964	12
5区	316	4,375	4,691	19
6区	271	3,608	3,879	15
7区	217	919	1,136	4
合計	2,095	23,088	25,183	100

年齢別総代数

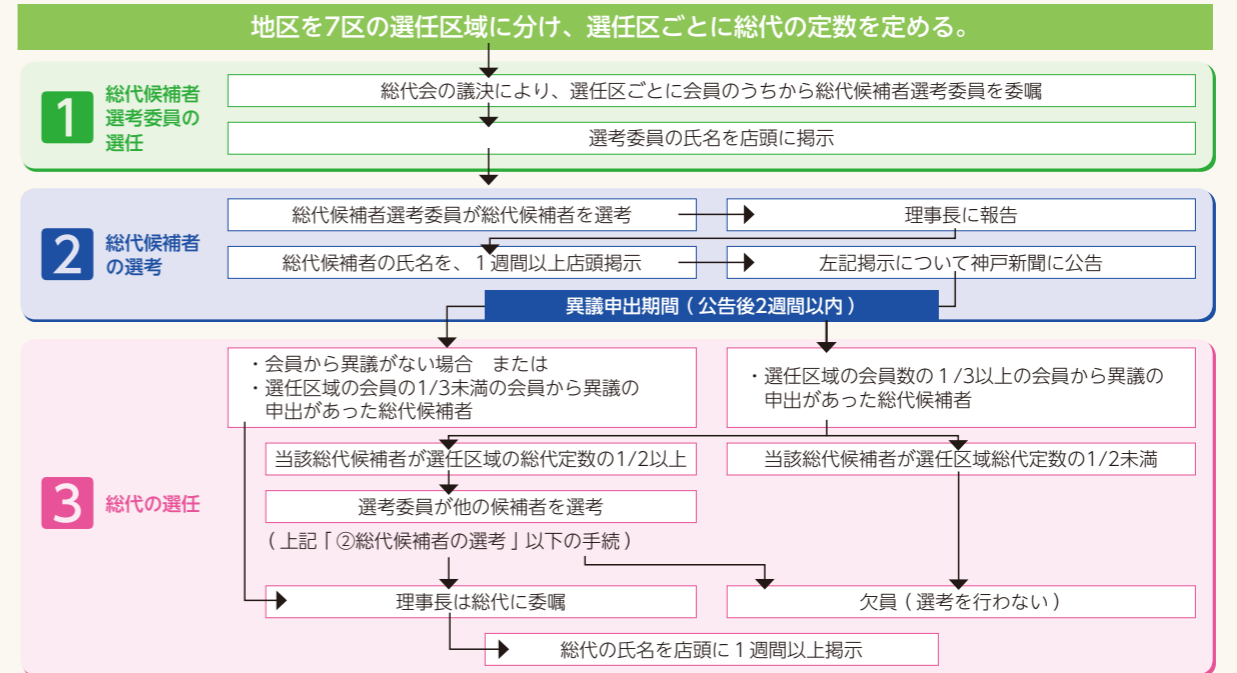
年齢	総代数
30歳未満	0
30～39歳	1
40～49歳	29
50～59歳	37
60～69歳	33
70～79歳	0
80歳以上	0
合計	100

(平成29年3月末現在)

総代候補者選考基準

- ①資格要件
 - ・但馬信用金庫の会員である者
 - ・就任時点で満70歳を超えない者
- ②適格要件
 - ・総代として相応しい見識を有している者
 - ・良識をもって正しい判断ができる者
 - ・一般会員や預金者等からの信望が厚く、総代として責任感の強い者
 - ・人格、識見に秀れ、当金庫の発展に寄与できる者
 - ・金庫の理念、使命をよく理解し、金庫との正常な取引関係を有する者

総代が選任されるまでの手続について



第69回通常総代会の決議事項について

- 平成29年6月21日開催の第69回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認されました。
- ①報告事項 第68期（平成28年度）業務報告、貸借対照表、及び損益計算書の報告の件
 - ②決議事項 第1号議案 剰余金処分案の承認の件 第3号議案 会員の法定脱退（除名）の承認の件
第2号議案 総代候補者選考委員の選任の件

総代の氏名等

(任期 平成28年11月14日～平成31年11月13日)
(50音順、敬称略)

選任区	地区	総代数	氏名
第1区	兵庫県豊岡市(除 旧豊岡市港地区、豊岡市日高町・城崎町・竹野町・出石町・但東町)、京都府京丹後市	26名	生駒 敬一⑥ 井戸 督④ 浮田 昌宏④ 卯野 隆也⑥ 瓜原 康之⑥ 遠藤玄一郎④ 岡本 慎二① 小倉 努② 長田 通明④ 小田 忠之① 榎本 博光⑧ 衣川 英生⑦ 木和田智成⑤ 小西 晴久① 斉藤 彰⑤ 鈴木 政宏② 竹中 宗明② 津山 貴義⑤ 豊嶋 肇④ 箱石 孝史④ 服部 清隆③ 早川 薫② 平野 慎二① 平林 卓也① 由利昇三郎④ 吉田宗一郎⑥
			飯田 高治② 太田 義人① 大田垣修二① 垣谷 託司④ 北見 龍彦② 柴田 誠② 新免 勝④ 田岡 茂⑦ 田中 律也① 谷本 貴② 西松 伸二② 樋口 雅基③ 福田 吉充⑥ 興田 久治④
第2区	兵庫県豊岡市日高町・城崎町(含 旧豊岡市港地区)・竹野町	14名	榑木 健二② 川嶋 実⑤ 齊藤 文昭⑧ 立花 正敬③ 田中藤一郎③ 谷垣洋一郎① 中村 博信① 西垣 源正⑧ 福田 嗣久⑥ 升田 勝義③
第3区	兵庫県豊岡市出石町・但東町	10名	朝倉 富征③ 阿瀬 偉之④ 石井 康裕② 岩田 隆② 株本 高志③ 藏野 惠三④ 小林 忠則④ 田村 昌士① 中井 功② 橋本 勝由⑤ 丸上 宗慈② 安田 優二④
第4区	兵庫県美方郡(新温泉町、香美町)	12名	太田垣好孝③ 岡 清勝② 片岡 篤宏⑥ 角野 昭男① 川口 秀昭② 日下部昇吾⑧ 才木健三郎④ 正垣 雅浩① 谷 孝之輔① 田村 敏剛④ 中尾 新④ 中島 良顕⑥ 中野 雅人④ 西村 正司② 平山 敏明② 福田 和起⑥ 藤田 達雄⑥ 村上 進一② 八木 敏之③
第5区	兵庫県養父市	19名	今石 博行① 江草 長史④ 笠谷 治⑥ 北村 篤② 衣川 浩二④ 小林 忠男① 下村 和彦③ 富田 秀幸① 豊田 活廣③ 永田 義典② 藤井 啓⑦ 藤岡 良彦③ 藤原 新吾⑥ 細見 英作⑤ 細見 守⑥
第6区	兵庫県朝来市、京都府福知山市	15名	井上 賢治① 片山 仁② 永濱 恵悟② 藤岡 保⑤
第7区	兵庫県姫路市(但し、旧姫路市、旧神崎郡香寺町、旧飾磨郡夢前町に限る)・神崎郡・高砂市・加古川市・揖保郡太子町	4名	
合計		100名	定数100名

※氏名の後の数字は総代への就任回数（平成29年3月31日現在）

総代の属性別構成比

職業別	構成比
法人代表者	81%
個人事業主	19%
業種別	構成比
卸・小売業	24%
建設業	15%
サービス業	16%
製造業	17%
個人事業主	16%
その他	12%

※業種別の構成比は、法人・法人代表者、個人事業主に限る。